

平成 26 年 12 月 19 日

退職願の承認に際してのコメント

理化学研究所
理事長 野依良治

STAP 論文が公表されてからこの 10 ヶ月間余り、小保方晴子氏にはさまざまな心労が重なってきたことと思います。このたび退職願が提出されましたが、これ以上心の負担が増すことを懸念し、本人の意志を尊重することとしました。

前途ある若者なので、前向きに新しい人生を歩まれることを期待しています。